

“わかる・できる・楽しい”を実感する子どもの育成を目指す「日野小てらこや」

日野町	活動名：日野小チャレンジ教室（日野小てらこや）	日野小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：少人数教室 年間開催日数：45日（開催ペース：週3日） 平均参加人数：10人		開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：4人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

今年度は9月から開始した。算数について、学習の土台となる計算等の復習のための補充プリントに取り組んだ。夏季休業期間中は夏休みの宿題教室を開催した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

補充プリントを多数用意し、児童の実態に合わせて取り組めるよう工夫した。参加児童数を少数とし、個別指導が充実できるようにすることや、隣との間隔を十分確保して児童が集中して学習に取り組めるよう工夫した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校から、対象学年全員にチャレンジ教室への参加の文書で呼びかけをした。個別懇談時には、担任からも保護者に声かけをして学力補充の機会として周知をした。

■ 他事業との関わり

特になし

■ 事業の成果と課題

〈成果〉少人数指導で、毎回、集中して学習に取り組む児童の姿が見られた。学習問題に児童がつまづいている姿を素早く指導員がつかみ、個別指導を行い、「わかった。」「次はできる。」とつぶやき、自信を高める姿が見られた。

〈課題〉今年度も4年生以上を対象に事業を行なった。対象学年を拡大してほしいとの声が保護者からもあり、実施方法、回数、参加方法を検討していく必要がある。



【 補充プリント 】

報告書記入者（ 教頭 ）

放課後にじっくり ゆっくり 勉強タイム！ 放課後チャレンジ教室

日野町	活動名：放課後チャレンジ教室	西大路小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：図書室、2年教室、3年教室 年間開催日数：20日（開催ペース：週・月3日） 平均参加人数：10人		開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：4人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

学習に支援が必要な児童（2～6年対象）を中心に、放課後、国・算のプリントを行う。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・学習したプリントは、各自のファイルにとじ、学習の成果を残していく。
- ・前半（2年生または3年生）、後半（4～6年生）の二部制とし、1回の受講人数を5～7名にして実施している。
- ・2年教室、3年教室と図書室を利用し、一人一人が広いスペースを確保することと、換気等を徹底している。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・出席カードを作り、学習前には確認する。
- ・学童に行く子どもは、この学習を終えてから学童に向かう。

■ 他事業との関わり

なし

■ 事業の成果と課題

〈成果〉少人数での学習なので、個々のつまづきが分かり、それに応じた学習をすることができた。

〈課題〉申し込み時点で、「意欲をもって参加する」が条件であるが、十分に徹底できているとは言えず、力を発揮できていない児童もあった。受講説明の際に十分な説明が必要であると考えられる。



【放課後チャレンジ教室の様子】

報告書記入者（ 教頭 ）

「南比がすき」～地域で学ぶ、地域に学ぶ～

日野町	活動名：放課後子ども教室	南比都佐小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：南比都佐公民館		開始年度：平成 29 年度：
年間開催日数：年間約 60 日（開催ペース：書道・茶道月 2 日、科学月 1 日）		地域学校協働活動推進員数：1 人（兼務 1 人）
平均参加人数：22 人（書道） 7 人（科学） 6 人（茶道）		平均スタッフ数：2 人（書道・茶道） 1 人（科学）
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

（書道教室）硬筆、毛筆の書き方の基礎を習得する。
 （科学教室）様々な実験を通して、科学の楽しさを味わう。
 （茶道教室）茶席の基本作法を学ぶ。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

・活動母体が学校に隣接する公民館であり、土曜日や長期休業日に開催が可能である。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・11 月に実施した学校行事「南比コミュニティ・フェスティバル」では、茶道教室の講師が“師匠”となり、茶道の体験講座を実施した。
 ・放課後学童クラブの子どもも平日開催の書道教室に数名参加しているが、この日は学童には通所せず、保護者の方が直接公民館まで迎えに行ってください。

■ 他事業との関わり

・公民館での秋の文化祭に、書道作品を出品したり茶席を開いたりしている

■ 事業の成果と課題

・学校では十分できない学びや体験ができる場として活動が定着してきており、子どもたちも参加するのを楽しみにしている。
 ・地域の方が講師となって下さっており、地域の良き学びの場であるとともに、学校と地域をつなぐ場の一つとなっている。



【 書道教室（硬筆指導） 】

報告書記入者（ 教頭 ）

「分かった」「できた」を増やし、子どもたちの学習意欲を引き出す

日野町	活動名：放課後必佐寺子屋	必佐小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：		開始年度：平成 4 年度：
年間開催日数：50 日（開催ペース：週 3 日）		地域学校協働活動推進員数：0 人
平均参加人数：8 人		平均スタッフ数：3 人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO 等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

3～5 年生を対象とした補充学習

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

教科は算数、対象学年を 3～5 年生に限定する。四則計算を中心に授業内容の理解の不十分な部分の補充を行う。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

参加児童は授業終了後、下校せずに放課後 15:35～16:20 に学習室で学習する。下校は保護者の迎えを基本とする。

■ 他事業との関わり

特になし

■ 事業の成果と課題

放課後教室を実施したい時間帯での指導者の確保が難しい。参加児童を増やしたいが、十分な指導体制を組めないため必要と思われるすべての児童の参加は難しい。



【 学習室での寺子屋学習 】

報告書記入者（ 教頭 ）

子どもたちの算数学習意欲を向上させ基礎学力の定着を図る取組

日野町	活動名：放課後学習補充教室	桜谷小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：		開始年度：(元号) 令和3年度：
年間開催日数：15日 (開催ペース：週・月1, 2日)		地域学校協働活動推進員数：1人 (兼務1人)
平均参加人数：19人		平均スタッフ数：3～4人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他 ()		
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他 ()		
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

算数科の学習意欲の向上と学習習慣の定着を目標に、夏休みから3月まで基礎的な学習の積み上げに重点を置く「放課後基礎補充学習」を実施した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

前半を1、2年、後半を3～6年にわけて45分間ずつ学習に取り組んでいる。児童2、3人に対して1人の指導者がつき、丁寧に理解できるまで教えている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校側は管理職または児童の担任が指導者とともに必ず参加している。参加する児童に必要な課題内容を克服できるような学習プリントを担任や指導員が用意して学習を進めている。放課後児童クラブに入っている児童は学習後放課後児童クラブに戻るという体制で行っている。

■ 他事業との関わり

なし

■ 事業の成果と課題

丁寧な見取りと指導をしていただけるので、どの子も安心して楽しく学習することができている。宿題や授業でわからなかったところを放課後学習補充の先生に質問して教えてもらっている子がいる。四則計算（特にかけ算の九九の暗唱）など基礎的な学力補充が必要な児童が増加する傾向にあり、今後も一人ひとりの学習状況を担任に聞き取るなどして小学校で身に付けなければならない力を確実に身に付けられるようにしていきたい。



【 放課後学習補充教室の様子】

報告書記入者 (教頭)